

投稿日:2021年3月15日

タイトル:課題別学習【植物】 ～この時期の代表的な山菜～



10時ごろに撮った写真です。かわいい白い花が見えます。

10時 30分 20℃ 天気:晴れ

皆さんこんにちは

13日の朝頃、自然の家では雪が降り白銀の世界になりました。(午後には雨に変わり半分ほど溶けてしまいましたが…)

雪をかき分けながら歩いているとフキノトウが地面から顔を出していました。なので、今回は冬から春にかけての代表的な山菜【フキノトウ】についてお話ししたいと思います。

【フキノトウ】は、同じ山菜の【フキ】がつぼみから小さな花になっている状態のことを指します。ちょうど2～3月頃にひょっこりと出始めて、枯葉や雑草と比べると鮮やかな黄緑色なので比較的分かりやすいと思います。1・2か月ほどたつと大きな葉と太めの茎になり【フキ】と呼ばれるようになります。雄花と雌花の目分け方のこのようになります。



今年はお出でこないかと思っておりましたが、無事出てきました。

【雄花】

- ・雄花は小花が隙間なく並んで、球形になっている
- ・色は黄色
- ・大きくなり枯れる

【雌花】

- ・雌花は小花の間に隙間があり、いびつな形である
- ・色は白っぽい、またはムラサキ
- ・大きくなりタンポポに似た種子を飛ばす

【フキ】の語源は諸説あり、冬に黄色い花が咲くことから【冬黄(ふゆき)】⇒【フキ】葉が大きく笠に用いられたことから【葺く(ふく)】⇒【フキ】などがあります。

山梨や長野では【フキノトウ】は天ぷらやフキ味噌といった和え物にして、【フキ】は煮物にしたりします。

皆さんもこの時期に八ヶ岳に来る機会がありましたらぜひ探してみてください。